

【活動方針・重点課題】

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に振り回され、現在もまだその余波に晒されています。特に我々医療関係者にとっては、各施設での状況の違いはあれ、それぞれが経験したことのない対応を迫られました。また、本来は比較対象とはならない「命」と「経済」という狭間に、全ての国民が矛盾を感じたことと思います。そのような中でも、感染がそれほど広がらなかった地域では、工夫を凝らした高齢者の予防事業を継続できたことも事実です。また、web 会議システムの活用という新たな展開が、広大な面積を抱える本会にとって大きな転機となる兆しも伺えます。

理学療法士の職域の維持・拡大に繋げるために日本理学療法士協会（PT 協会）では、今年度の重点事業に市区町村単位での士会活動の強化を掲げています。本会では以前から道内を10支部に分けて各事業を展開し、地域包括ケアに対して北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を窓口にして2015年度から対応を進めているところです。今年度の各種派遣事業については、（オリンピック・パラリンピックを含め、）新型コロナウイルスの状況を鑑み、会員が勤務する施設で十分な理解を得ながら進めます。

1. 組織力強化のための会員ネットワークの充実

新型コロナウイルスの感染症対策は、既に各施設で実施しているところですが、PT 協会からの情報配信や、コロナ対応以外の内容も含めた緊急の調査も増えています。会員からの迅速な情報提供は新たな事業展開には必須な材料であり、これらの情報に基づいて国や都道府県への要望にも繋がっています。会員と士会・協会の連携を強化するためにも管理者ネットワークの充実が重要であり、機能的な活用を進めなければなりません。協会指定管理者の初級研修会も昨年度下期からはzoomを活用して開催しています。今年度はこれらのweb 会議システムを強化して、士会内や各支部間での情報共有を始め、市町村単位での士会活動の活性化に繋げていきたいと考えています。加えて、本年は介護報酬改定の年となっていますので、情報提供や情報の整理・配信等を行います。

2. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステムの確立に向け、本会ではPT 協会が全国展開を進めているシルバーリハビリ体操指導士の育成モデル事業を展開しています。昨年度もHARPを窓口として継続展開する方針を掲げましたが、こちらも新型コロナウイルスの感染拡大により、一部地域を除いて十分な広がりができずに終了しています。ただ、こちらもzoomを使った研修会を昨年度下期から振興局単位で開催し、半ば強制的でしたが、広大な大地の北海道における新たな事業展開の方法が見えてきた印象があります。新型コロナウイルスの収束に期待しつつ、新しい方策を積極的に展開しながら基金事業の中での会員に対する研修事業も実施しますので、できるだけ多くの方に受講いただき、また勤務地周辺の市町村事業に対する参画にご協力をお願いします。

また、2024年までに全ての市町村において高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が予定されています。多くの会員にその内容を理解の上、協会の「フレイル対策推進マネジャー」を取得いただき、地域包括ケアシステム構築にご理解をお願いします。

3. 学術・教育活動の推進

2022年度より開始されるPT 協会の新生涯学習システムに会員がしっかりと対応できるよう学術局・教育局が連携して事業を進めます。昨年は、コロナウイルスの影響から新入会者の入会率を始め、新人教育プログラムの履修率も十分とは言えない状況でした。本会会員の資質向上の土台となる新プロの履修・修了を継続して促進させるためにも新人の周囲にいる会員には積極的な誘導をお願いするところです。新プロのeラーニング受講費については、今年度も入会初年度の無料化が引き続き継続されます。

また、日本理学療法士学会の12分科学会が法人化し、8部門と一緒に日本理学療法学会連合の傘下に入ります。この内容を広く周知し会員の専門性研鑽のために分科学会・部門への参加を推進します。

臨床実習指導者講習会の受講が義務化され、全国リハビリテーション学校協会北海道ブロックと連携して当該講習会の開催が始まりました。ただ、これもコロナウイルスの影響拡大から十分な開催には至って

おりません。PT 協会ではこの状況に対応すべく、今年度から web による研修会体制も整えますので、引き続き、状況に応じて道内各地での開催を準備し、臨床実習指導者の育成に繋げていきます。

4. 道民の健康増進と障害予防の推進

健康スポーツ局を中心に道民に対する運動習慣獲得の啓発を行い、また障害を持った方への適切な運動支援も目的に事業展開を進めていきます。道民の健康増進・障害予防に繋がるように市民スポーツ大会や産業保健領域を含め他団体からの派遣要請の体制を検討し、この領域で活躍できる会員の育成、そして会員のデータベースの充実を図ります。東京オリンピック・パラリンピック 2020 については、マラソンと競歩の札幌開催に期待するところですが、順次、準備を進めたいと考えています。

5. 効果的な支部事業運営のための体制整備

会員数が増加し、各支部における事業活動が活発となり、事務処理等にかかる作業も急激に増えていきます。特に PT 協会が進めている組織改編では市町村との関係、地域における多職種との連携を事業の基本に置いています。各支部の活動を推進するためにも支部内の組織強化やこれを支える各部署の支援体制を推進します。こちらについても web ツールを効果的に使い、できるだけ事務作業を集約化・効率化し、支部機能の強化ができるよう検討を進めます。

《令和3年度重点事業計画》

1. 組織力強化のための会員ネットワークの充実
2. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
3. 学術・教育活動の推進
4. 道民の健康増進と障害予防の推進
5. 効果的な支部事業運営のための体制整備

令和3年度（2021年度）事務局事業計画

事務局

副会長

柿澤 雅史

【活動方針・重点課題】

コロナウィルス感染症拡大に伴い、対面での会議、事業を行うことが困難な状態が続いています。できる限り、これらがWEBで円滑に開催が可能となるよう、各部局、支部と相談の上、ハード・ソフト面含め、調整を継続します。また、事務局で所管している定時総会については、近時の状況により開催方法を検討し、令和4年新年交礼会については、適切な時期に開催可否をお示しいたします。新入会については、新人教育プログラム必須初期研修会や学術大会等、各種事業の中止の影響から、加入率が低下しています。管理者ネットワークの利用や郵送物発送の機会も含め、適時、情報提供することで、円滑な新規加入に努めます。また、次年度からの次期会員管理システムの本稼働に伴い、操作確認を行い、現システムから円滑に移行できるよう準備します。

事務局では、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の基金事業並びに市町村からの委託事業に関する事務処理も担っています。HARP事務の一部は外部委託することで負担を軽減してきていますが、依然として業務量は多く、これにも対応できるよう適切な職員配置についても検討してまいります。都度、感染状況を見ながら、各事業の実施方法等に対し、事務局として支援できるよう対応してまいります。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣推薦事務
- ・専門職派遣事業
- ・北海道リハビリテーション専門職協会介護予防事業支援（札幌市分）

《公2：学会・研修会支援事業》

- ・事前参加システム決済代行支援
- ・事業稼働日当交通費支払業務

《その他事業》

- ・事務局会議
- ・学術奨励基金（学術奨励賞、社会分野奨励賞、養成校優秀賞）
- ・メルマガ配信事業（緊急時のFAX通信を含む）
- ・常設委員会、特別委員会
- ・新人歓迎会支援
- ・会計部長業務支援
- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・理事会、常任理事会、三役会議
- ・法人監査
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース校正支援など）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【関係団体協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力及び事業参加
- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力

令和3年度（2021年度）学術局事業計画

学術局

局長

橋田 浩

【活動方針・重点課題】

2022年度へ運用開始が延期された新しい生涯学習システムへの移行をスムーズに進めるために、教育局や各支部との学術・教育部担当者と連携を図り会員のキャリアステージを考慮した情報を発信します。また新型コロナウイルスの状況を考慮しながら遠隔会議ツールなどを活用し、学術大会をはじめ学術研修大会、技術講習会や理学療法士講習会の開催および学術誌「北海道理学療法 38 巻」を発刊し、会員の学習の機会が滞ることのないように致します。学術局共通においては1) 教育局との合同会議ならびに各支部の学術教育部担当者との会議を開催いたします。学会研修部においては、1) 学術大会の開催および開催計画支援、2) 学術研修大会の開催および開催計画支援、3) 学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実、4) 学会運営の負担軽減のためのシステム導入の検討、5) 学術大会担当制度について検討致します。学術誌部においては、1) 学術誌部会議による投稿者数の増大の検討、2) 編集会議による投稿規定の見直し、3) 北海道理学療法第 38 巻の編集・発刊作業を致します。専門領域部においては、1) 技術講習会及び理学療法士講習会（応用編）の運営、2) 新生涯学習システムを考慮した技術講習会、理学療法士講習会（応用編）の企画立案を進めて参ります。

【各部事業】

〈学術局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術・教育局合同会議
- ・学術・教育局・各支部学術教育担当者会議

〈学会研修部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第72回北海道理学療法士学術大会（道南支部：函館市）の開催支援
- ・第73回北海道理学療法士学術大会（道北支部：旭川市）の開催計画支援
- ・第74回北海道理学療法士学術大会（札幌支部）の開催計画支援
- ・学会間の引継ぎ支援
- ・学術研修大会の開催支援および公募・採択
- ・学術大会演題登録・査読システムの活用

《収1：機器展示事業》

- ・第72回北海道理学療法学術大会機器展示

〈学術誌部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術誌部会議
- ・北海道理学療法 38 巻の編集・発刊作業

〈専門領域部〉

《公2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議
- ・各専門領域の技術講習会開催（第219回～224回）
 - 第219回「前十字靭帯再建術後アスリートへの理学療法-再損傷予防とパフォーマンスエンハウメント」（開催予定：2021年12月）
 - 第220回「片麻痺の評価と治療～姿勢制御に基づくアプローチ～（仮）」（2021年7月3日～4日）
 - 第221回「呼吸リハビリテーション」（2021年10月～12月）
 - 第222回「心・大血管リハビリテーション」（2021年11月～12月）
 - 第223回「2型糖尿病の理学療法」（2021年11月～2月）

第 224 回「機能解剖からみる下肢疾患の理学療法評価-股関節・足関節に着目して」(2021 年 10 月 23 日～24 日)

・理学療法士講習会 (応用編) の開催

「小児急性期医療領域における理学療法介入 (仮)」 (2021年8月28日)

「パーキンソン病症例に対する理学療法」 (2021年8月29日)

「事例を通して生活環境調整の理解を深めよう (仮)」 (2021年10月～2月)

「急性期～回復期における片麻痺への装具療法」 (2021年11月)

「ニューロサイエンス (神経科学) に基づく、運動姿勢と学習」 (2021年11～12月)

令和3年度（2021年度）教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の企画、実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。また、2021年度に関しては全ての事業をWebセミナーとして開催予定です。

1)教育部は、協会の新生涯学習システムが1年延期されたことから、引き続き新人教育プログラムの履修促進と若手会員の臨床能力向上、また新人教育プログラムを終了した会員に対し、生涯学習システムに移行を進め認定理学療法士の取得を促進していくことを重点目標とし事業展開していきます。新人教育プログラムは、必須初期研修会と複数テーマが取得可能な選択研修会を実施していきます。必須初期研修会についてはWebで開催を予定していますが、履修促進のため協会ではeラーニング受講料を無料としていることから、本会においても3年度に限り無料といたします。

さらに若手会員に対する臨床能力向上のための事業では、理学療法士講習会を7本実施していきます。尚、例年実施してきた理学療法士講習会（技術編）の2本は、Webとしての開催が難しいため2021年度は実施しない方向です。また昨年度から教育局事業として実施してきた臨床実習指導者研修会に関しては、現時点ではWeb開催ではなく対面方式で予定していきます。

2)職域教育部は、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を例年通り実施していく予定です。2021年度は、例年通りのスポーツ支援講習会と健康支援育成講習会をWebで開催していく予定です。尚、2021年度のオリンピック開催は現時点で予測不能であるため、スポーツ関連講習会を例年の2本から3本に増やし柔軟に対応していきたいと考えます。

【各部事業】

〈教育局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・研修・講習会に使用する機器整備など

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・教育部会議
- ・理学療法士講習会（基本編理論7本）

徒手的理学療法の基礎～四肢に関して～	受講定員 90名
画像の診方	受講定員 100名
変形性膝関節症と腰痛症に対する評価と治療	受講定員 90名
脳血管障害及び神経難病に対する評価と治療	受講定員 90名
呼吸リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 95名
心臓リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 95名
生活環境支援理学療法が目指すべき方向性とその実践	受講定員 90名

《その他事業》

- ・新人教育プログラム

必須初期研修会（A1～5）	受講定員 490名
選択研修会（B～Eの6テーマ）	受講定員 700名
- ・臨床実習指導者研修会（8回開催）
受講定員 608名
- ・新人教育プログラムテーマ承認作業（総務部と協働）

〈職域教育部〉

《公2：学術振興事業》

- | | |
|-------------------|----------|
| ・ 第30回スポーツ支援育成講習会 | 受講定員 60名 |
| ・ 第31回スポーツ支援育成講習会 | 受講定員 60名 |
| ・ 第32回スポーツ支援育成講習会 | 受講定員 60名 |
| ・ 第16回健康支援育成講習会 | 受講定員 60名 |
| ・ 第17回健康支援育成講習会 | 受講定員 60名 |

令和3年度（2021年度）社会局事業計画

社会局

局長

近藤 和夫

【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼に活動しております。

各部における令和3年度の計画は例年同様以下の通りです。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、予定していた事業のほとんどが中止となりました。これは、各支部社会部も同様の状況です。いぜんとして収束がみえないなか、社会に向けどのように発信していくのか模索し、支部社会部との連携を強化して活動したいと考えています。特に、災害リハビリテーション支援に関しては既に活動を開始している支部もあり、道内多くの会員に向けての啓発活動を推進していきたいと考えています。

【各部事業】

〈社会局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・社会局会議

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進支援部会議
- ・いきいき健康・福祉フェア2021への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣
- ・けんこうフェスタへのスタッフ派遣
- ・STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」健康一口メモコーナー出演講師派遣・調整
- ・札幌市自主活動化支援事業
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整

〈企画推進部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・企画推進部会議（社会分野小委員会を含む）
- ・支部社会部長・社会局合同会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー1（パッケージ制作と周知）
- ・道民向け啓発セミナー2（小学生及びその保護者対象）

〈広報部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・広報部会議
- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材・撮影

〈災害リハビリテーション支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・災害リハ支援部会議〔災害時会員安否確認システムの構築、会員に向けた普及啓発活動（資料・動画の作成、提供）〕
- ・災害時リハビリテーションマニュアルの作成
- ・災害リハビリテーション支援研修の開催（第1回 導入研修、第2回 初期研修）

令和3年度（2021年度）職能局事業計画

職能局

局長

時永 広之

【活動方針・重点課題】

職能局は支部職能部と連携して、地域包括ケアシステムの推進の支援及び、職能団体としての機能充実に向け、管理者ネットワークの充実に向けた活動を継続して行います。

保険事業部では、診療報酬及び介護報酬関連の情報収集と整理、情報配信、調査を継続して実施します。また、制度の変更や方向性、COVID19の影響を意識した研修・意見交換等を企画します。

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。職場・職域偏倚への対応として介護保険領域への活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続していきます。また、職域に関する状況把握調査を実施し、会員のおかれている環境実態の把握、課題分析等を行います。その他、協会指定管理者研修会を企画し、オンライン研修として開催します。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と地域における介護予防、ケア会議への参加を担う人材への研修を行っていきます。また、各支部に装具相談窓口を設立し、活動を支援し、北海道リハビリテーション専門職協会と連携した各地域の会員への広報活動を継続します。

【各部事業】

〈職能局共通〉

《その他事業》

- ・支部職能部合同会議など

〈保険事業部〉

《その他事業》

- ・保険事業部会議
- ・診療報酬及び介護報酬関連の実態調査（情報収集・整理・情報配信、会員からの質問への回答）
- ・保健事業部研修会（診療報酬及び介護報酬改定に伴う制度についての研修・意見交換等の企画）

〈職域事業部〉

《その他事業》

- ・職域事業部会議
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業
- ・会員動向把握事業
- ・職能に関する情報提供事業
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・協会指定管理者研修会検討会議
- ・協会指定管理者研修会（初級）
- ・復職支援に向けた検討会議
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・理学療法士の職域偏倚緩和事業
- ・学生と生活期のPTの交流ワークショップ
- ・介護保険事業所での実習指導者ワークショップ
- ・養成校での介護保険領域の講話

〈地域包括ケア推進部〉

《公1：健康増進事業》

- ・介護予防推進リーダー導入研修会
- ・装具相談窓口設立事業（支部活動支援・課題調査）

《公2：学術振興事業》

- ・地域包括ケア推進部全体会議
- ・地域包括ケアを学ぼう
- ・地域包括ケア研修会（中堅・管理者）
- ・地域ケア会議リーダー導入研修会

令和3年度（2021年度）健康スポーツ局事業計画

健康スポーツ局

局長

長井 豊貴

【活動方針・重点課題】

健康スポーツ局は、2020 東京オリンピック・パラリンピックを契機に健康スポーツに対する関心が強くなってきている地域社会の現状を踏まえ、人生（ライフステージ）で運動習慣を支援・啓発する「生涯スポーツ支援部」と障がいを持った方への適切な運動を支援・啓発する「障がい者スポーツ支援部」を有する事業局として2019年6月より新設されました。

生涯スポーツ支援部は、運動習慣を含むスポーツ領域での地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、高野連メディカルサポートの活動支援を継続し、スポーツ関連事業へのスタッフ派遣などをしながらスポーツメディカルサポート会員の情報収集をしてまいります。あわせて、スポーツ関連事業へ参加したい若手理学療法士に対し、実際の現場での指導が受けられる場を提供し、サポートの輪を広げていきたいと考えています。また、2021年度は北海道マラソンに代えてオリンピック・パラリンピックへのボランティア活動に参加する会員に対し活動支援をしてまいります。

障がい者スポーツ支援部は、パラスポーツ活動を支援する他、パラスポーツ分野で活躍する理学療法士の情報管理や派遣調整を行い、地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、道内で行われているパラスポーツイベントに出向き、パラスポーツの理学療法士の活躍を紹介するなどの情報配信や理学療法士の関りの少ないパラスポーツへのきっかけ作りの他、パラスポーツ体験会等の実施によりパラスポーツ関心度を高めるなど啓発活動も行います。

【各部事業】

〈健康スポーツ局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・健康スポーツ局会議
- ・支部健康スポーツ支援部長会議

〈生涯スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・生涯スポーツ支援部会議
- ・北海道マラソン救護班活動支援事業
- ・高野連メディカルサポート支援事業（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・スポーツ関連への派遣支援情報ネットワーク構築事業
- ・オリンピック・パラリンピックへのボランティア活動参加支援事業

〈障がい者スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・障がい者スポーツ支援部会議
- ・パラスポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・パラスポーツ関連への調査事業
- ・パラスポーツ支援ネットワーク構築事業

令和3年度（2021年度）支部事業局事業計画

支部事業局

局長

小林 巧

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案、事業の実施や決算の報告、支部独自の事業や支部内の組織力強化について支援します。

令和3年度は、各支部の学術・教育活動、社会・職能活動について全道均一のサービスが実施できるよう調整を図りつつ、支部の特色を生かした活動も支援していきます。支部で実施される各局関連事業に関しては、当該局との連携を図ることで、支部事業が円滑に進むよう情報共有を図ります。また、新型コロナの影響も想定し、webによる会議や研修などの導入も視野に入れ、積極的な事業展開が行えるよう支援していきます。

【支部事業局共通】

《公2：学術振興事業》

- ・拡大支部事業局会議ほか

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道南支部健康スポーツ部会議（4月、6月、8月、10月予定）
- ・道南支部社会部会議（年3回）
- ・高野連メディカルサポート事業（年3回 春、夏、秋大会）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市NPOまつり出展参加）
- ・道南支部健康安全運転講座（春・秋）
- ・函館マラソンメディカルサポート事業
- ・南渡島地域リハビリテーション推進会議
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』：11月頃

《公2：学術振興事業》

- ・道南支部役員会議：4回（4月、7月、10月、1月）
- ・道南支部学術教育部会議：年5回（4月、6月、9月、12月、2月予定）
- ・道南支部症例検討会：年4回（5月、8月、10月、1月予定）
- ・道南支部研修会：第1回～第4回（6月、8月、10月、1月予定）
- ・道南支部健康スポーツ部 第1回研修会「オーバーヘッドスポーツの障害特性について ～評価からテーピング対応まで～」
- ・道南支部社会部研修会「災害支援に関して（仮）」
- ・道南支部健康スポーツ部 第2回研修会「ランニング障害と下肢に対するテーピングのコツ」
- ・第7回 道南理学療法士学術大会（6月～9月）
- ・第3回 道南理学療法士学術研修大会（11～2月）

《その他事業》

- ・道南支部職能部会議：年4回（4月、7月、10月、1月予定）
- ・道南支部新人教育プログラムセミナー：2テーマ（時期未定）
- ・道南支部職能部研修会「地域包括ケア関連（仮）」（5-2月予定）
- ・道南支部協会指定管理者研修会（開催は職能局判断）
- ・道南支部新人歓迎会：（6月～10月）

〈日胆支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2021 ブース出展、市民公開講座）
- ・健康フェスタとまこまい 2021
- ・日胆支部高野連メディカルサポート事業 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・日胆支部各種派遣事業（西胆振地域リハビリテーション推進協議会ほか）

《公2:学術振興事業》

- ・日胆支部講習会 3回（日高1回、苫小牧1回 伊達1回）
- ・日胆支部症例検討会 2回（日高1回 苫小牧1回）
- ・第29回全道学術研修大会・第1回日胆支部学術研修大会
- ・日胆支部役員会 2回
- ・日胆支部地区運営委員会 8回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各2回）

《その他事業》

- ・日胆支部新人教育プログラム選択研修（苫小牧）
- ・日胆支部ニュースの発行 2回
- ・日胆支部新人歓迎会 3回（苫小牧・室蘭・伊達）

〈札幌支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・清田区健康&介護予防フェア（10月頃）
- ・札幌支部理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～（7月）
- ・札幌支部高野連メディカルサポート：年6回（札幌支部予選、全道・北海道大会：春季、夏季、秋季）
- ・札幌市立高校生職場体験（対象病院施設調整：7～9月）
- ・札幌体操リーダー育成事業
- ・札幌支部派遣事業（随時）

《公2:学術振興事業》

- ・第8回札幌理学療法学術大会（2月）
- ・札幌支部講習会：年3回（運動器、中枢、介護予防：6月、8月、10月）
- ・札幌支部役員会：年3回

《その他事業》

- ・札幌支部講師バンク・スタッフバンクの管理（随時）
- ・札幌支部管理者研修会

〈石狩支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・北広島市元気フェスティバルへの協賛（8月）
- ・千歳市健康祭りへの協賛（9月）
- ・石狩いきいきフェスタへの協賛（10月）
- ・石狩 理学療法週間事業 高校生理学療法見学・体験（7月～8月）
- ・石狩支部社会部会議：年3回（4月・8月・10月）

《公2:学術振興事業》

- ・石狩支部症例検討会 年2回（4月～12月）
- ・石狩支部学術教育部会議（年2回）
- ・石狩支部役員会議：年4回（4月・8月・11月・2月）
- ・石狩支部事務部会議：年2回（4～12月）

《その他事業》

- ・石狩支部3士会合同研修会（5月～7月）
- ・石狩支部職能部会議：年2回（4月・10月）
- ・石狩支部新人歓迎会

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志支部健康スポーツ部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7～8月2ヶ所予定）
- ・後志支部理学療法週間事業～アンケート調査・資料配布
- ・後志支部健康スポーツ支援事業（9～10月）
- ・後志支部各種派遣推進事業

《公2：学術振興事業》

- ・後志支部第1回研修会（未定）
- ・後志支部第2回研修会（未定）
- ・後志支部症例検討会（年3回；7月、11月、2月予定）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年2回）
- ・後志支部学術教育部会議（年2回）

《その他事業》

- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）
- ・後志支部職能部会議（年2回）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部新年交礼会出席（小樽市医師会、柔道整復師会）
- ・後志支部新人歓迎会（10月予定）
- ・後志支部管理者研修会

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部健康スポーツ部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9月 or10月）
- ・ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部拡大役員会議（4月）
- ・空知支部役員会議（第1回8月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部第1回研修会：「足部・足関節の基礎知識と理学療法」（砂川市立病院、5月 or6月）
- ・空知支部学術教育部会議（時期未定、1回）
- ・第5回空知理学療法学会（岩見沢市内、11月）
- ・空知支部第1回症例検討会（Web開催を予定、2月）
- ・空知支部災害リハビリテーション研修会（会場未定）

《その他事業》

- ・空知支部全体集会（砂川市立病院、5月 or6月）
- ・空知支部職能部会議（時期未定、1回）
- ・空知支部第1回職能部研修会：
「これからの理学療法士の職域とは～若いPTに聞いて欲しい我々のこれから」（Web開催、6月～7月）
- ・空知支部第2回職能部研修会：「コロナ禍における地域での理学療法士の役割」（Web開催、1月～3月）
- ・空知支部新人歓迎会（会場未定、5月 or6月）

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり参加6月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間7月）
- ・道北支部健康安全運転講座（6月と9月の年2回、旭川市と士別市で開催予定）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川・名寄・宗谷/5～9月予定）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（旭川ハーフマラソン/9月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン/3月予定）
- ・道北支部行政関連会議出席（上川中部リハ推進会議総会・NPO法人住まいるイン旭川総会）
- ・道北地域リハ推進会議協賛（上川中部・宗谷）
- ・道北各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・道北支部学術教育部会議（全3回5,7,9月）
- ・第4回道北理学療法学術大会（10-12月）
- ・第2回道北支部学術研修大会（村松憲氏：9-11月頃）
- ・道北支部第1回研修会（牧迫飛雄馬氏）
- ・道北支部第2回研修会（市橋則明氏）
- ・道北支部宗谷地区研修会（講師未定）（7-9月）
- ・道北支部症例検討会（全3回小児・中枢・整形）
- ・道北支部役員会議（全3回7,9,11月）
- ・道北支部拡大役員会議（2月）

《その他事業》

- ・道北支部全体集会（12月）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）・ホームページ更新
- ・道北関連団体式典参加（北都保健福祉専門学校入学式、卒業式、旭川医師会新春懇親会）
- ・道北支部新人歓迎交流会（上川中部・上川北部・宗谷）（4～5月）

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・十勝支部各種派遣推薦事業
- ・十勝支部理学療法週間事業（介護予防）：7月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート事業：5月～9月
- ・帯広市介護予防派遣事業：5～3月
- ・十勝支部第1回研修会（職能部企画）：5～7月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部健康スポーツ部会議（年2回）：4～3月

《公2：学術振興事業》

- ・介護予防関連座談会（年2回）：4～3月
- ・十勝支部第2回研修会（学術教育部企画）：8～9月
- ・十勝支部第5回十勝理学療法学術大会：10～11月
- ・十勝支部役員会議（年4回）：4月～3月
- ・十勝支部学術教育部会議（年2回）：4月～10月

《その他事業》

- ・十勝支部会員名簿の作成と配布：8～9月
- ・新人教育プログラム選択研修会（支部開催）：7～8月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部管理者研修会（支部開催）
- ・十勝支部新人歓迎会：5月

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・釧根社会部会議（年2回）
- ・釧根理学療法週間事業（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・釧根スポーツ支援活動講習会（時期未定）
- ・釧路湿原マラソン大会サポート（7月）
- ・釧根派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・釧根役員会議（年4回：4, 7, 10, 2月）
- ・釧根学術教育部会議（年2回）
- ・釧根第1回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・釧根第2回理学療法基礎講習会（時期未定）

《その他事業》

- ・釧根職能部会議（年2回）
- ・釧根職能部研修会（時期未定）
- ・釧根会計部会議（時期未定）
- ・釧根新人歓迎会（時期未定）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部理学療法週間事業～香りゃんせフェスティバルへの出展～（7月）
- ・北見市健康まつりへの出展
- ・網走市市民健康まつりへの出展
- ・ハッカの日ジョイントコンサート（9月予定）
- ・北見市ふれあい広場への出展
- ・道東支部体操普及推進事業（きたみんと体操）（4月～3月）
- ・高栄フェスティバルへの出展（8月予定）
- ・道東支部社会部会議（年5回予定）
- ・道東支部地域包括協働事業（同行訪問、施設ケースカンファレンス）
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議
- ・きたみんと体操サポーター養成講座
- ・道東支部スポーツ支援事業（北見ハーフマラソン、10月予定）
- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学（4月～10月予定）

《公2：学術振興事業》

- ・道東支部社会部研修会（災害リハ研修会（仮）
- ・第1回道東支部研修会
- ・第2回道東支部研修会
- ・第3回道東支部研修会
- ・第4回道東支部研修会
- ・道東支部支部役員会議（年4回予定）
- ・道東支部学術教育部会議（年3回：4、10、2月予定）

《その他事業》

- ・道東支部ニュース発行（年3回：6、10、2月予定）
- ・道東支部職能部会議（年4回予定）
- ・道東支部職能部研修会（テーマ：退院患者の適切な情報提供とは）
- ・道東支部新人歓迎会